

スタートカリキュラムとは

小学校へ入学した子どもたちが、**幼児期の遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として**、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム。

★小学校入学は、1年生の始まりであるだけでなく、**小学校生活6年間の始まりでもある！学校全体で1年生のスタートを支えることが大切！**

スタートカリキュラムの考え方

★1年生はゼロからのスタートじゃない！

子どもたちは、様々な経験を積み重ね学び育ってきた。特に入学前の時期には、年長児として、リーダーシップや最高学年としてのカッコいい姿を見せてきた、園では頼もしい存在！

★小学校の学びとは違う！




幼児は、「学ぶ」ことを意識して過ごしているわけではない。遊びや生活の中で、自分の経験や思いなどを基に、発見する視点を広げてきたり、工夫してみたり、表現してみたりと、「学びの芽生え」を育てている。その力には園による違いや、月齢・発達段階による差もある。

★「学びの芽生え」から「自覚的な学び」へ

生活科を核として楽しいことや好きなことに没頭する中で生じた驚きや発見を大切に、子ども自ら考え、試行錯誤しながら**主体的に取り組めるように活動**を構成することが有効。

スタートカリキュラムの構成

スタートカリキュラムを構成する活動の類型

-  一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした活動（安心をつくる時間） **なかよしタイム**
-  合科的・関連的な指導による生活科を中心とした活動 **わくわくタイム**
-  教科等を中心とした学習活動 **ぐんぐんタイム**

学習活動を3つの時間に分類。生活科を中心としたわくわくタイムを核に、**幼児期の活動を参考としたなかよしタイム**が多い時間配分から、**小学校の教科ごとの学習活動が中心となるぐんぐんタイム**が多い時間配分へ移行していくよう作成している。



主体的に自己発揮しながら小学校生活を送るためには、**安心**が土台として必要。安心できることで、小学校での様々な活動に取り組み、その活動から学び、力をつけて**成長**し、さらにそれを自分の力として発揮していくことで**自立**していく。

今週のめあて：スタートカリキュラムについて知ろう！←今週の子どもたちの育てたい姿

	○日目	○日目	○日目	○日目	○日目
月日(曜日)					
行事					
時間					
始業前	8:00	のんびりタイム			
朝読書	8:25				
朝の会	8:35				
1	8:50				
	9:35				
2	9:40				
	10:25				
大					
昼休憩	12:05				
持					
持					

幼児期の遊びを生かした室内遊び

- ・読書
- ・お絵描き（自由帳）
- ・折り紙
- ・粘土
- ・塗り絵（曼荼羅塗り絵）
- ・あやとり
- ・カードゲーム各種

入学してすぐは、45分間同じ活動をするのではなく、**児童の集中力を考え、時間を短く区切って学習を設定。**

生活科が中心のわくわくタイムは水色で色付け

なかよしタイムに加え、休憩時間等1年生が思い思いに過ごせる時間を「のんびりタイム」として同じくピンクで色付け

教科による学習活動が中心のぐんぐんタイムは白のまま

【環境の工夫】

- ・児童の目の高さに掲示
- ・楽しい雰囲気のある掲示物で安心感を（誕生日列車や季節の掲示物を児童と一緒につくって掲示するのもよい）
- ・イラストや写真を使った**視覚支援**（学校のきまり等の説明に使える教材参照）
- ・1日の流れを**可視化**する
- ・幼児期に親しんだ玩具や、ござ・空き教室を使ったゆったり過ごせる空間の用意

【先生の接し方】

- ・豊かな**表情**（特に笑顔）や**声のトーン**を変化
- ・1から全て教えるのではなく、**園での経験を引き出し**たり、**どうすればよいか一緒に考えたり**する
- ・**ゲーム感覚**や**リズム感覚**を取り入れて、自然とやってしまう、やりたくなってしまふ活動を工夫する（遊びの引き出し集参照）
- ・児童の姿を**褒める**、**認める**、**寄り添う**
- ・**スキンシップ**も大切に（ハグ、ハイタッチ、手をつなぐなど）

この段階を踏みながら、小学校生活へ円滑に移行できるように、5日間ごとにねらいを設定↓

日目	目指す子どもの姿	指導のポイント
1~5	「学校って楽しいな。」と感じ、安心して過ごす。	「安心」をキーワードに、環境を整え関わりを大切にする。
6~10	生活のリズムをつかんで、友達や先生と関わりながら楽しく過ごす。	生活リズムを整え、人とのつながりを広げる活動を仕組む。
11~15	生活に慣れて、楽しく過ごす。	生活リズムに慣れ、主体的にルールが身につけられるようにする。
16~20	生活に慣れて、主体的に自己を発揮する。	生活リズムに慣れ、主体的に取り組める活動を仕組む。

詳しい活動内容は、次のページから➡